

## 第3回 小委員会 論点

### テーマ1 分権を支える地方税体系について

論点1 これからの我が国における地方政府の役割についてどう考えるか。また、地方政府に分権する意義は何か。

#### <メモ>

##### (地方政府の役割)

- ・ 役割は拡大。地方が、資源配分機能の他、所得再分配機能（福祉、教育等現物給付）、経済安定化機能（経済対策等）の一部も担う。

##### (分権の意義)

- ・ 国民・住民の生活の質が向上（行政運営への市民参加、地域の要望と実情に応じた行政サービスの提供、対人社会サービスの充実が可能に）
- ・ 公共部門のパフォーマンスが向上（受益と負担の明確化によりコスト原理が働く、自治体間の競争）
- ・ グローバル化への適切な対応が可能に（国を越えた地域間競争の中で、自治体・企業の連携による地域経済活性化が不可欠）

論点2 地方がその役割を果たしていくためには自主財源の確保が必要だが、そのためには、基幹税を国と地方で分かち合うこと、基幹税によっては地方税を主体にすることが必要と考えられる。地方の基幹税には何がふさわしいか。また、それは何故か。

## テーマ2 個人所得課税の再分配機能の回復と個人住民税のあり方について

論点1 個人所得課税については、所得再分配機能の回復が課題となっているが、社会保険料や消費税の負担も含め、どのような見直しが必要か。

論点2 個人住民税は一律の税率を適用しなければならないこととされているが、地方自治体の裁量で累進税率を適用できるようにすることについて、どのように考えるか。また、均等割の税率についてどう考えるか。